


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成28年8月17日

山北町議会議長 府川輝夫 殿

受付番号	第1号	質問議員	5番	原 憲 司 
件名	公共用地等を活用した地域の活性化とにぎわいづくりを			
要 旨				
<p>当町の人口は、平成28年7月1日現在で、男性が5,358人で、女性が5,626人の合計10,984人であり、昨年の平成27年7月1日より、男性が130人減で、女性が138人減の合計268人の人口が減少しています。</p> <p>山北町第5次総合計画では、平成35年の将来人口を近年の少子高齢化の進展を踏まえ、良好な生活環境やまちの活力を維持していくため、産業振興施策や子育て支援策、さらに定住対策を進めることにより、11,000人の人口規模を目標として設定しています。</p> <p>そこで、人口減少が進む現状を鑑みた中で、当町の自然豊かな美しい環境や景観を基本にした我が町の活性化や地域のにぎわいづくりを進める取り組みを積極的に推し進め、人口の増加を図るため、次の4点について質問します。</p> <p>1. 町民の定住促進を積極的に推し進めるため、公共用地を活用した土地分譲を行うとともに、空き家・空き地を有効に活用した家や土地の借地や分譲を進め、定住促進を図り、人口増加による地域の活性化やにぎわいづくりを推し進めてはどうか。また、宮地地区の町営住宅が取り壊され、空き地になっているが、跡地利用計画を速やかに策定し、宅地分譲や宅地の借地などを行う中で、人口増加を図り、地域の活性化やにぎわいづくりを推し進めてはどうか。</p>				

2. 人口減少が進んでいる中で、若い人たちの人口を増加させ、活力あるまちづくりを推し進めるため、若い人たちの働き場所を十分に確保する取り組みとして、企業などと十分な連携・協議を行い、富士山や足柄平野が一望できる都夫良野地区の旧火葬場周辺の公共用地や平山工業団地への企業誘致を積極的に推進し、若い人たちが誘致した企業などで働ける職場づくりを進め、人口増加を図り、地域の活性化やにぎわいづくりを推し進めてはどうか。

3. 町内の特徴ある丹沢湖・大野山・洒水の滝・河村城址などの観光施設に多くの観光客が訪れることにより、地域の活性化やにぎわいづくりに繋がるので、地域と十分な連携を図り、観光施設の充実と特徴ある観光施設の整備を行い、山北町観光協会などと連携した観光ピーアールを積極的に進め、観光客の増加による地域の活性化やにぎわいづくりを推し進めてはどうか。

4. 山北町の各地域の拠点づくりを進めるため、地域の生活拠点の整備を進めるとともに、三保・清水・共和・山北・岸・向原地区と十分連携した中で、コミュニティーの拠点を定め、各地域の拠点を充実させ、地域の活性化やにぎわいづくりを推し進めてはどうか。